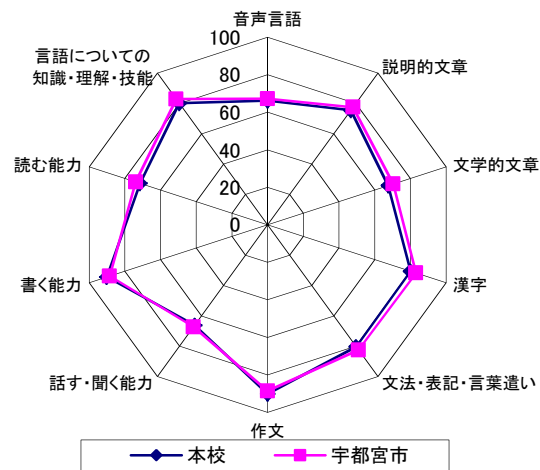


宇都宮市立瑞穂野中学校第2学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	66.2	67.2
	説明的文章	75.5	77.5
	文学的文章	67.6	70.4
	漢字	80.0	83.1
	文法・表記・言葉遣い	80.3	82.5
	作文	90.1	88.6
観点別	話す・聞く能力	66.2	67.2
	書く能力	90.1	88.6
	読む能力	71.5	73.9
	言語についての知識・理解・技能	80.1	82.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (66.2%)	宇都宮市の平均正答率を若干下回っている。特に「話の趣旨に関する聞き取り」「インタビューの工夫の聞き取り」が低い傾向がある。	「話す・聞く」に関する授業の中だけでなく、説明的文章や文学的文章の読解の中でも、文章や話の構成、論理の展開に注意することで、筆者や話し手の意図をとらえる力を身につけさせたい。
説明的文章 (75.5%)	宇都宮市の平均正答率を若干下回っている。「文脈に即した内容の理解」においては正答率93%と、市を6ポイント上回ったものの、「文章の構成や展開」では7.6ポイント下回った。	教科書教材以外にも説明的文章を読む機会を増やすとともに、説明的文章の学習において、段落の構成を考える学習に力を入れたい。
文学的文章 (67.6%)	宇都宮市の平均を2.8ポイント下回っている。「登場人物の心情」にあてはまる言葉を選択する問題では、市の平均を5.9ポイント上回ったが、気持ちを説明する文章では10.7ポイント下回った。	心情描写の部分を中心に登場人物の言動に注目させ、「登場人物の心情」を要約したり説明したりする学習に力を入れたい。
漢字 (80.0%)	正答率は8割に達し、「漢字の読み」の正答率はほぼ100%だが、「中学2年の漢字の書き取り」は宇都宮市の平均から18.5ポイント下回り、5割程度しか正答していない。	スタンダードテストや小テストでの書き取りの問題数を増やすとともに、より正確な表記ができるようにさせたい。
文法・表記・言葉遣い (80.3%)	宇都宮市の正答率を若干下回り、「動詞・形容詞・形容動詞」の問題では2.9ポイント下回っている。	「動詞・形容詞・形容動詞」の見分けで、動詞と形容動詞の混同があり、文章の中に実際に用いられている場合を考えた学習が必要である。
作文 (90.1%)	正答率は9割を超え、宇都宮市の平均を若干上回っている。特に無解答の割合が低く「文学的文章」の「意見の記述」では市を7.8ポイント下回っていて、意欲的に解答していることがうかがえる。	文章を書くことそのものには意欲的なので、漢字や語句の利用について、完成度を高めるように、他の領域と関連させながら学習させたい。